

公益財団法人
ニッセイ聖隷健康福祉財団

財団のご案内

公益財団法人ニッセイ聖隷健康福祉財団

〒530-0027 大阪市北区堂山町3番3号 日本生命梅田ビル

Tel 06-6315-0243 (代表) Fax 06-6315-1175

URL <https://www.nissai-seirei.org/>

(2022年10月作成)

だれもが安心して、安全に、健やかに、 そしていきいきと生活できる、 より良い地域社会づくり。

ニッセイ聖隷健康福祉財団は、日本生命保険相互会社の創業100周年と
社会福祉法人聖隷福祉事業団の創業60年を記念して、1989年(平成元年)7月に設立されました。
1985年(昭和60年)には高齢者(65歳以上)人口比率が10%を突破し、本格的な高齢社会の
到来を告げていました。この年から、高齢社会に向けて国の制度改革や法整備の動きもスタート。
民間活力導入の必要性が謳われ、社会・経済の広範な領域にわたり、高齢化のもたらす
諸問題についての調査研究の充実と、それら成果の速やかな実践が、官民あげての課題となりました。
当財団の設立は、両法人のノウハウを結集して、こうした社会的要請にいち早く応えようとしたものです。

当財団は冒頭に掲げた理念をめざし、これまで奈良県と千葉県において、
厚生労働省の施策『ふるさと21健康長寿のまちづくり事業(通称、WAC事業)』の具体化である
2つのモデル事業を実践しています。また、幅広い調査研究活動や、介護福祉士などの育成のための
奨学金助成を行っています。おかげさまで2013年(平成25年)4月には、こうした事業活動の公益性が評価され
内閣府から公益財団法人として認定されました。

65歳以上の高齢者人口の割合は、2013年(平成25年)に4人に1人となり、
2036年には3人に1人になると予想され、急速な高齢化はますます続くものと見込まれています。
今後、経済環境や高齢者福祉・介護をめぐる環境はますます厳しさを増すと予想されます。
当財団はこれまでの取組みを更に前進させ、
高齢者施設を核とした地域社会づくりに一層貢献してまいる所存です。
引続き皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

日本生命保険相互会社

日本生命保険相互会社は、1889年の創業以来「共存共栄」「相互扶助」の精神に基づき、生命保険事業の役割をしっかりと果たすための経営を掲げてまいりました。

人口減少や高齢化の進展といった社会構造の変化に伴い、人々の生活基盤の安定に対して果たすべき保険会社の役割は、今後、益々重要になってくると考えています。

これからも、生命保険事業は人々の生活を支える社会的な使命を帯びた聖業であるとの信念のもとに、長期的な視点から堅実で健全な経営を貫き、「保障責任の全う」、「お客様の利益の最大化」のために努力を重ねてまいります。



日本生命保険相互会社(本店)

社会福祉法人 聖隷福祉事業団

社会福祉法人聖隷福祉事業団の事業は、1930年に結核の青年をお世話する一つの病室から始まり、その後充実した医療機関となり、今では生活習慣病予防、人間ドック、労働安全衛生、健康増進等を包括した事業へと進展しました。

また、結核治癒後の社会復帰施設から始まった社会福祉事業を含め、1都8県において数多くの事業所・施設を有しています。

保健、医療、福祉、介護サービスの4つの領域を総合的に提供する社会福祉法人として、これからもよりよい地域社会作りに貢献してまいります。



聖隷三方原福祉タウン

共同事業

ニッセイ聖隷健康福祉財団は、
日本生命保険相互会社と社会福祉法人聖隷福祉事業団の
共同事業として設立されました。

公益財団法人ニッセイ聖隷健康福祉財団

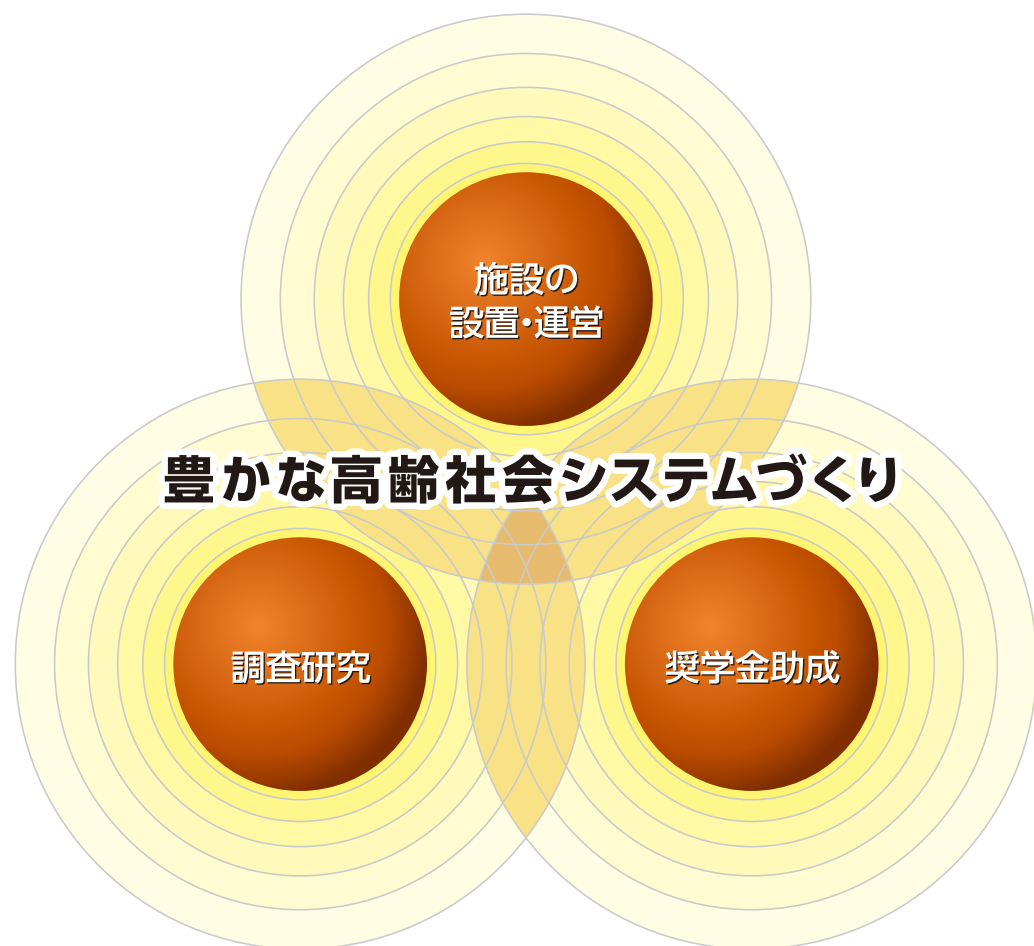
設 立	1989年7月4日
基本財産	10億円
運営施設	ウェル・エイジング・プラザ 奈良ニッセイエデンの園 松戸ニッセイエデンの園



高齢社会の望ましいシステムを求めて、 調査研究活動およびモデル事業を実践。

高齢者の健康・生きがい・安心のための施設の設置・運営

1992年4月にウェル・エイジング・プラザ「奈良ニッセイエデンの園」を、1997年3月にウェル・エイジング・プラザ「松戸ニッセイエデンの園」を開園。両施設とも厚生労働省の施策『ふるさと21健康長寿のまちづくり事業(通称、WAC事業)』を具体化したものとして、認定を受けています。地域自治体との連携や住民との交流、周辺地域への在宅関連拠点の設置など、地域に開かれ、地域に根ざした活動を推進しています。



高齢者の健康・生きがい・安心に関する調査研究

上記施設運営を通じた高齢者の健康増進・生きがいづくりに関することや、介護を中心とした福祉サービスのあり方など、高齢者に関するテーマを多面的にとらえ、調査研究を実施しています。また、その成果を様々な形で発信しています。

介護福祉士等養成のための奨学金助成

超高齢社会を迎えて、介護に関する専門知識や技術を兼ね備えた人材がますます求められています。当財団では、介護福祉士(1989年～)、理学療法士・作業療法士(1994年～)、言語聴覚士(2019年～)を目指す学生への奨学金助成を行っており、奨学生は累計780名を超えました(2022年4月現在)。

ふるさと21健康長寿の まちづくり事業(WAC事業)を展開。

高齢社会の到来が目睫の間に迫った1989年度、厚生省(当時)は、『ふるさと21健康長寿のまちづくり事業(通称、WAC事業)』をスタートさせました。『高齢者保健福祉推進十か年戦略(通称、ゴールドプラン)』の一環として、高齢社会に対応した健康・福祉の実現を「まちづくり」という視点でとらえて推進しようとするもので、地域社会の中に、高齢者にとって必要な健康・生きがい・安心その他関連する各種機能を総合的・計画的に整備していこうとするものです。

※WAC… Well Aging Community の頭文字。



平成3年版「厚生白書」(1991年)

この事業は、1989年6月に施行された「民間事業者による老後の保健及び福祉のための総合的施設の整備の促進に関する法律」に基づくものです。「疾病予防運動センター」「高齢者総合福祉センター」「在宅介護サービスセンター」「有料老人ホーム」の4つの施設(「特定民間施設」と言います。)を一体的に整備する場合に、厚生労働大臣の認定を受けることができます。



当財団はこの施策にいち早く取り組み、最初のモデル事業施設であるウェル・エイジング・プラザ「奈良ニッセイエデンの園」は1990年10月17日付で、全国最初のWAC事業認定施設となり、先駆的まちづくりの実践例として「厚生白書」にも取り上げられました。更に、当財団の第2号施設であるウェル・エイジング・プラザ「松戸ニッセイエデンの園」は1994年12月15日付で、全国2番目のWAC事業認定施設となりました。



「健康」「生きがい」「安心」「住まい」を トータルにご提供する総合 シルバーサービス施設。



厚生労働省「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」第1号認定施設

ウェル・エイジング・プラザ **奈良ニッセイエデンの園**

施設概要	建築概要
[第1号施設] ウェルเนสクラブニッセイ・アーク西大和 (付設) ニッセイ聖隷クリニック(診療所・19床)	[所在地] 奈良県北葛城郡河合町高塚台1丁目8-1 [敷地面積] 37,231.53㎡(11,263坪)
[第2号施設] 高齢者総合福祉センターふれあいプラザ	[延床面積] 45,107.28㎡(13,645坪)
[第3号施設] ニッセイせいいい在宅介護サービスセンター ベル西大和店	[総戸数] 412戸(一般居室362戸、介護居室50戸) [開園] 1992年4月1日
[第4号施設] 介護付有料老人ホーム奈良ニッセイエデンの園 [併設施設] 介護老人保健施設奈良ベテルホーム 訪問看護ステーション西大和 ニッセイせいいいケアプランセンター西大和	

厚生労働省「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」第2号認定施設

ウェル・エイジング・プラザ **松戸ニッセイエデンの園**

施設概要	建築概要
[第1号施設] ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸 (付設) 松戸ニッセイ聖隷クリニック(診療所・19床)	[所在地] 千葉県松戸市高塚新田123-1 [敷地面積] 19,561.06㎡(5,917坪)
[第2号施設] 高齢者総合福祉センターニッセイ松戸アカデミー	[延床面積] 35,412.58㎡(10,712坪)
[第3号施設] 在宅介護サービスセンター ニッセイエデンヘルパーステーション	[総戸数] 358戸(一般居室315戸、介護居室43戸) [開園] 1997年3月1日
[第4号施設] 介護付有料老人ホーム松戸ニッセイエデンの園	

介護付有料老人ホーム
奈良ニッセイエデンの園



高齢者総合福祉センター
ふれあいプラザ



ニッセイせいいい
在宅介護サービスセンター
ベル西大和店



疾病予防運動センター
ウェルเนสクラブ
ニッセイ・アーク西大和



在宅介護サービスセンター
ニッセイエデン
ヘルパーステーション



介護付有料老人ホーム
松戸ニッセイエデンの園



高齢者総合福祉センター
ニッセイ松戸アカデミー



疾病予防運動センター
ニッセイセントラル
フィットネスクラブ 松戸

